

第二次長野市環境基本計画    平成27年度 取組の結果

基本 目 標	指 標（29項目）		H27年度			計画 目標値 （H28）	計画 目標値 達成	是正計画（H28.5作成）		監視項目（135項目）中の 遅れ気味・遅延の施策
			目標値	実 績	目標達成			原 因	是正計画	
① 循環型社会の構築	1    ごみの年間総排出量(t)	↓	130,706	132,424		129,140		家庭ごみは、可燃ごみは減少し、不燃ごみはほぼ横ばいであったが、資源物の剪定枝葉が増加し全体を押し上げた。事業ごみは、可燃ごみが前年度比0.7%増加した。	家庭ごみにおいては、出前講座、環境美化研修会、住民説明会及びごみ通信等をはじめ各種の広報媒体を活用し、ごみの分別の徹底とリサイクルの促進に取り組む。 事業ごみについては、事業所を減量マニュアル等を活用し、事業所訪問による調査や出前講座を実施するとともに、食品ロス削減に向けてフードバンク活動の啓発を行う。また、ながのエコ・サークルの普及に努め、認定事業所の事後調査と取り組み事例の紹介を通じて、減量と分別意識を促進する。	全29項目（遅れ気味 2 項目）  ・ 多量排出事業所におけるごみ減量取組の把握と指導 → 景気の回復による事業系ゴミの増加。 対前年度比△ 2 % (△542t)  ・ 災害廃棄物対策 → 中部地方環境事務所による、災害廃棄物中部広域連携計画の策定が、年度末にかけてあったことにより、「長野市災害廃棄物処理計画」の見直しの着手が遅れ気味となった。
	2    市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量(g)	↓	556	568		548		家庭ごみは、可燃ごみは減少し、不燃ごみはほぼ横ばいであったが、資源物の剪定枝葉が増加（前年度比19.1%増）し全体を押し上げたため。	家庭ごみにおいては、出前講座、環境美化研修会、住民説明会及びごみ通信等をはじめ各種の広報媒体を活用し、ごみの分別の徹底とリサイクルの促進に取り組む。	
	3    事業系ごみ年間排出量(t)	↓	40,276	40,810		39,200		事業ごみは、現年度と比べて、可燃ごみと不燃ごみがそれぞれ、277tと92t増加し、資源物が60.0t減少し、全体では0.7%増加した。 月別に見ると一年を通じて高く推移しており、景気の回復等が原因に考えられる。	廃棄物の減量と分別の啓発のため、減量マニュアル等を活用し、事業所訪問による調査や出前講座を実施するとともに、食品ロス削減に向けてフードバンク活動の啓発を行う。また、ながのエコ・サークルの普及に努め、認定事業所の事後調査と取り組み事例の紹介を通じて、減量と分別意識を促進する。	
	4    ごみのリサイクル率（%）	↑	27.9	25.9		29.9		紙離れ等による古紙類など資源物そのものの減量と、資源物の店頭回収等行政によらない回収が活発化したため。	目標達成に向けて、廃棄物の減量と分別の啓発を図る。	
	5    家庭系可燃ごみに占める生ごみの割合（%）	↓	41.1	44.2		50.0	○	当初計画の目標値（50%）は達成しているものの、生ごみ減量の取組みがまだ広がっていない。	目標達成に向けて、水切りの徹底と堆肥化の普及促進を図る。	
	6    家庭系可燃ごみ中の資源物の混入率（%）	↓	15.2	17.2		17.4	○	当初計画の目標値（17.4%）は達成したが、市民の分別意識の低下などにより、目標未達成となった。	平成28年度においては、出前講座、環境美化研修会、住民説明会及びごみ通信等をはじめ各種の広報媒体を活用し、ごみの分別の徹底とリサイクルの促進に取り組む。	
	7    ながのエコ・サークル認定件数(累積認定件数)(件)	↑	273	8(276)	◎	262				
② 良好な生活環境の確保	8    大気環境基準達成率（%）	→	78.95	78.95		77.78				全13項目（遅れ気味 1 項目）  ・ まちの美化の推進 → 啓発活動を行うも、ポイ捨てをする喫煙者に届かなかった。
	9    市内中小13河川のBOD平均値(mg/l)	↓	2.0	2.8		2.0		工場排水、流量低下が原因と考えられる。なお、13地点中、4地点が平均2.0mg/lを超過。	今年度、事業所の採水検査を増やして、排水状態を監視する。水質検査時は、用水路の排水量などを考慮して、採水する。	
	10    污水处理人口普及率（%）	↑	98.4	97.3		99.4		目標値は、平成29年度末に普及率100%を目指す過程での設定値であり、整備終盤を迎えている状況下において、お知らせやお願い、PR活動等を行うも、排水設備使用開始届出数が伸び悩んだため。	引き続き、平成29年度までに污水处理人口普及率100%を目指して、下水道及び戸別浄化槽の整備を図る。	
	11    ポイ捨て吸殻本数(月平均本数:長野大通り10か所)(本)	↓	72	122		70		懸垂幕や路上シート、路線バスのエプロン等啓発を行っているが、ポイ捨てをする者に、啓発が浸透しなかった。	広報の回数を増やすとともに、ポイ捨ての多い場所に偏りが見られるので、多い場所については重点的に啓発を行う等、対応を検討し実施していく。	
③ 質の高い自然環境の確保	12    ホタルを見かけることがある市民の割合(市民アンケート)(%)	↑	25.0	16.9		30.0		ホタルに関心を持ってもらうための啓発活動が不足していた。	観察会等を開催する住民自治協議会等と協力しながら、ホタルの繁殖時期やよく見かける場所等の啓発活動を実施する。 また、ホタルが生息しやすい環境が整えられるよう、きれいな水を守ることや、空き缶、空きビン等のポイ捨て禁止など、広く啓発活動を行う。	全24項目（遅れ気味 1 項目）  ・ 野生鳥獣被害の防止と対策の推進 → 被害防止対策研修会を、年間2回開催する予定であったが、1回の開催に留まった。
	13    間伐面積(累積面積)(ha)	↑	6,702	6,537		5,700	○	平成27年度途中で（大北森林組合の不正受給問題を受け）、造林補助事業（間伐事業）の見直しが行われ、事業内容の変更による減少及び年度末（2月末）申請分が、平成28年4月へ先送りされたことにより面積が減少した。	各事業体において、補助事業の変更に対する事業計画の見直しを行うとともに、各種補助事業の導入を検討し、対応していく。	
	14    森林体験参加者数(年間人数)(人)	↑	2,500	2,563		2,500	○			
	15    新規就農者数(年間人数)(人)	↑	30	27		30		前年度と比較して新規就農者の数は大きく増えたものの、目標値に達することができなかった。既存の各種支援制度が定着し、新たに就農しようとする者の数が落ち着いたことによると思われる。	農業委員、農協、県と連携し、新規就農希望者の情報把握に努め、各種支援制度の周知を徹底するとともに、人口増推進課等とも連携し、様々な機会を活用し就農相談を行うなど、新規就農者の掘り起こしを行っていく。	

◎       ：計画目標値は達成され、新たな目標値も達成  
○       ：平成27年度目標値を達成  
網 掛 け：計画目標値は達成され、新たな目標値に対する未達成  
塗りつぶし：目標値に対する未達成

第二次長野市環境基本計画 平成27年度 取組の結果

基本 目標	指 標（29項目）		H27年度			計画 目標値 （H28）	計画 目標値 達成	是正計画（H28.5作成）		監視項目（135項目）中の 遅れ気味・遅延の施策	
			目標値	実 績	目標 達成			原 因	是正計画		
④ 豊 か で 快 適 な 環 境 の 創 造	16 市民一人当たりの都市公園面積（㎡）	↑	7.52	7.52	○	8.20				全29項目（遅れ気味4項目）  ・既存緑地の機能向上の検討 →飯綱実験林の報告書について、提出依頼中。  ・市民や事業者の景観保全 →新規環境形成市民団体の掘り起こし不足。  ・景観に関わる計画や協定の締結支援の実施 →新規該当地区がなかったため。  ・自然景観の保全 →ホテルに関心を持ってもらうための啓発活動が不足していた。	
	17 多自然型河川の整備延長（累計）（m）	↑	4,300	4,309	○	4,300					
	18 土地区画整理事業施行済面積（累計）（ha）	↑	793.3	838.5	○	858.8					
⑤ 低 炭 素 社 会 の 構 築	19 温室効果ガス年間排出量（千t）	↓	2,040	2,046		2,115	○	電力会社の排出係数が前年度よりも下がったものの、電力使用量や自動車燃料の増加等により、排出量が増加した。	節電・省エネルギーの啓発に努めるとともに、太陽光発電システム、太陽熱利用システム等の再生可能エネルギーの更なる普及促進を図る。	全29項目（遅れ気味2項目）  ・公共施設の省エネルギー化の推進 →対前年度比：101.03%（337kℓの増） 第一庁舎を筆頭に、平成27年度中に稼動を開始した施設が複数あり、平成26年度の使用量より増加した。 改めて、エネルギー使用削減に向けて、呼びかけを行う。  ・省エネ機器やエコカーの普及促進 →第3のエコカーの普及など選択肢の増加による。	
	20 一世帯当たりの温室効果ガス年間排出量（t）	↓	4.16	4.33		4.45	○				
	21 太陽光発電設置件数（住宅用）	（累計件数）	↑	8,900	8,643		9,600		消費税増税、国の補助金制度の廃止、再生可能エネルギーの固定価格買取制度における買取価格の引き下げ、設備認定の締め切りが早まったこと等が影響し、設置件数が想定ほど伸びなかった。		今後も設置件数を抑制する要因は影響するものと想定されるが、環境イベント等での太陽光発電と補助制度のPRにより、普及拡大を図る。
		（累計kw）	↑	39,000	38,321		38,000	○			
	22 太陽光発電設備規模（公共施設・事業所等）（累計kw）	↑	7,300	7,486	◎	3,000					
	23 エコカー登録率（推計）（%）	↑	11.0	9.8		15.0		全車種合計数に対しエコカー数の割合は増加の方向に推移しているものの、第3のエコカーなど低燃費車の選択肢が増えたこともあり、当初の想定ほどエコカー登録率が増えなかった。  ※1 本指標でのエコカー 「電気自動車、ハイブリッド車、天然ガス車などガソリン車以外の低燃費車」 ※2 第3のエコカー 「ハイブリッド車並みの低燃費性能のガソリン車」	エコカーのシンボルとも言える電気自動車について、電気自動車からの電力受給電など新たな利用方法をPRすることで、普及拡大を図る。 また、あわせて市内でも電気自動車充電器の設置数も増加していることをPRしていく。 さらに、エコドライブ等のPRに合わせて、エコカーなどの低燃費車の選択についても啓発していく。		
	24 バイオマス熱利用導入数（累計）（台）	↑	220	229	◎	200					
25 木質ペレット年間生産量（t）	↑	590	420		520		灯油価格の下落及び暖冬の影響により、生産量が減少したため。	市民に対し、長野市森のエネルギー推進事業補助金（ペレットストーブ、ボイラー設置者への補助金）制度の、より一層の普及を図り、ペレット燃料の活用を促していく。			
政⑥ の 市 民 と の 協 力 を 通 じ た 環 境 保 全 の 推 進	26 ながの環境パートナーシップ会議の環境保全に関する年間取組件数（件）	↑	200	228	○	266				全11項目（遅れ気味・遅延なし）	
	27 マイバッグ持参率（%）	↑	60.0	60.3	○	60.0					
	28 環境学習会年間参加者数（人）	↑	3,500	5,104	◎	3,100					

◎ :計画目標値は達成され、新たな目標値も達成  
○ :平成27年度目標値を達成  
網 掛 け:計画目標値は達成され、新たな目標値に対する未達成  
塗りつぶし:平成27年度目標値に対する未達成

29指標中、  
達成 11指標  
未達成18指標

135項目中  
順調・概ね順調：124項目  
遅れ気味：10項目  
遅 延：0項目  
1項目集計中